

【3】 次の文の（ ）に適当な語句を記入し、また、下線部についての問に答えよ。

豊臣秀吉の死後、五大老筆頭の地位にあった徳川家康は、「天下分け目」といわれる（ ア ）の戦いに勝利し、1603 年には征夷大將軍の宣下を受けて、諸大名に対する指揮権の正統性を確保した。さらに、將軍が全国の土地を掌握していることを明示するために、慶長年間に諸大名に命じて、（ イ ）と呼ばれる地図と、村ごとの石高などを記載した郷帳を作成させた。1605 年、家康は將軍職を辞し、自らは大御所として実権を握りつつ、子の徳川（ ウ ）に將軍宣下を受けさせることで、將軍職が徳川氏の世襲であることを諸大名に示した。いぜんとして大坂城には秀吉の遺児の豊臣秀頼がいたが、1615 年の大坂夏の陣で幕府方によって攻め滅ぼされた。

大坂夏の陣後、幕府は諸大名の軍勢力を削減するため、法令によって大名の本拠地以外の城をすべて破却させた。さらに、^①武家諸法度(元和令)を制定して諸大名の厳格な統制を開始した。有力な外様大名であっても、これらの法令に違反した場合は^②改易された。また、すべての大名は、戦時において將軍の指揮下で出陣するために、石高に応じて一定数の兵力を常備しておかなければならなかった。この負担を（ エ ）という。なお、諸大名には平時においても江戸城の修築や河川工事などの普請役が課せられた。幕府の軍勢力は、諸大名の(エ)に加え、將軍直属の家臣団である旗本・（ オ ）によって支えられていた。老中や若年寄、三奉行など幕府の要職には譜代大名や旗本が就任し、合議による意思決定がなされた。

^③幕府の財政は、約 400 万石の直轄領から納められた年貢のほか、佐渡や生野などの主要鉱山からの収入によって支えられていた。また、本拠地である江戸はもちろん、商工業や交易を統制するために大坂や京都など主要な都市を幕府の直轄領とした。それらのうち、江戸から離れた伏見や長崎などには遠国奉行がおかれた。京都には、西国大名の監視や、朝廷・公家や寺社を監察するため、將軍直轄の（ カ ）が配された。

（ウ）の跡を継いだ三代將軍の徳川（ キ ）が、1632 年に肥後国の外様大名を改易すると、九州にも將軍権力の影響が十分に及ぶようになった。（キ）は生涯に 3 回上洛したが、最後の上洛となった 1634 年には約 30 万の軍勢を率いて、將軍の軍事指揮権の強大さを見せつけた。さらに、1635 年に制定した武家諸法度(寛永令)では、諸大名に対して国元と江戸を 1 年ごとに往復する（ ク ）を義務づけ、妻子を江戸に居住させることを強制した。（キ）の時代に至って、軍勢力を独占した將軍と、諸大名の主従関係は決定的なものとなり、幕藩体制が確立した。^④

問 1 諸大名に、本拠地以外の城の破却を命じた法令を何というか。

問 2 a 幕府に無断で広島城を修築し、改易された大名は誰か。次のなかから 1 人選び、記号で答えよ。

あ 加藤忠広 い 松平忠直 う 福島正則 え 本多正純

b 家康の命を受け、武家諸法度を起草した人物は誰か。次のなかから 1 人選び、記号で答えよ。

あ 鈴木正三 い 天 海 う 沢 庵 え 金地院崇伝

問 3 老中と三奉行などによって構成された、合議による幕府の最高司法機関は何か。次のなかから 1 つ選び、記号で答えよ。

あ 政 所 い 評定所 う 公議所

問 4 この時代より後のできごととして、正しいものどれか。次のなかから 1 つ選び、記号で答えよ。

あ 天草四郎を総大将とする島原・天草一揆が発生した。

い 將軍や大名の死後、家臣が殉死することを禁止した。

う 対馬の宗氏が、朝鮮国王と交易に関する条約を結んだ。

え 紫衣事件に抗議して、後水尾天皇が譲位した。

【4】 次の文の（ ）に適当な語句を記入し、また、下線部についての問に答えよ。

1914 年 7 月、第一次世界大戦が勃発する。もっぱらヨーロッパを舞台に、ドイツ・オーストリア＝ハンガリーを中心とする同盟国が、ロシア・フランス・イギリスを中心とする連合国と激突した。この戦争はこれまでにない大規模で悲惨な戦いとなったが、それは産業革命で発展した技術と生産力を背景に、国家が持つすべての人的・物的資源を動員して戦う（ ア ）となったからだった。^①

日本も（ イ ）同盟に基づいてこの戦争に参戦し、中国におけるドイツの利権であった山東半島に出兵した。しかし日本の主な軍事行動はこれで終わり、（ア）とはならなかった。むしろ日本はこの後、戦場となったヨーロッパには軍需品や食料品などを、ヨーロッパ資本が撤退したアジアなどには綿織物などの工業製品を輸出し、やはりヨーロッパへの輸出で好景気になったアメリカにはもともと多かった（ ウ ）の輸出を激増させて、大戦景気に沸くこととなる。

大戦は日本の重化学工業化を進めるきっかけとなった。大戦で世界的に船舶が不足し、日本の海運業と造船業は急速に成長、多くの（ エ ）と呼ばれるにわか金持ちを生んだ。鉄鋼業でも、大戦中は鉄が激しく値上がりし、国内の需要を満たせなかったため、戦時中から戦後にかけて既存の製鉄所の拡張や新たな製鉄企業の創業が相次いだ。日本が中国に設けた南満洲鉄道も、鉄鉱石の採掘権を中国に認めさせて、鞍山製鉄所を設立している。

^③こうして、重工業の生産額は工業生産の 3 割を占めるようになり、工業生産額自体も農業生産額を抜くに至った。軽工業でも、輸出の好調から増産が活発になり、紡績業では（ オ ）と呼ばれる中国での現地生産が盛んになっている。

また、大戦で敵となったドイツからこれまで多くを輸入していた、薬品や染料、（ カ ）といった化学工業も、日本で盛んになった。戦後になってドイツなどからの輸入が復活すると、激しい競争で(カ)の値段は下がり、農家にとって欠かせないものとなった。

大戦中の新たな産業の変化として、電気普及が挙げられる。高圧長距離の送電技術がすすみ、大規模な（ キ ）力発電が広まったことで電気の値段が下がったのである。大戦中は電力も不足し、新たな電源開発が急速にすすめられるようになっていく。

ところがこの大戦景気は、1918 年 11 月に戦争が終わってもしばらく続いたものの、1920 年 3 月の戦後恐慌で破綻してしまう。恐慌の痛手は大きく、各業界は手を広げすぎた戦中・戦後の後始末に追われ、日本は 1920 年代をとおして「慢性的恐慌状態」とと呼ばれる不況になってしまった。^④電力業界は開発した発電力が過剰になってしまい、激しい安売り合戦をして共倒れになりかかった。大戦景気に踊ったツケは安くなかったのである。

問 1 第一次世界大戦で初めて登場した新兵器として、あてはまらないものを次のなかから 1 つ選び、記号で答えよ。

あ 機関銃 い 戦 車 う 毒ガス

問 2 第一次世界大戦で船舶が不足した一因には、ドイツがある兵器を投入して大規模な通商破壊作戦をおこなったことが挙げられる。この兵器は何か。

問 3 この採掘権を日本が獲得したのは、1915 年に日本が袁世凱政権に行った要求にもとづいている。中国側から強い反発を受けたこの要求を何と呼ぶか。

問 4 a 1920 年代の恐慌の一つで、1927 年に大蔵大臣の失言がきっかけで銀行の休業が続出した恐慌を何と呼ぶか。

b 1927 年恐慌の原因の一つとなった、第一次世界大戦時に急成長したものの、台湾銀行に巨額の債務を抱えて破綻した商社は何か。

日本史

一般選抜（2月8日実施分）

●全学部・全学科②（前期日程）

【1】 次の文の（ ）に該当するものを、下記の〔語群〕から選択し記号で答えよ。また、下線部についての問に答えよ。

古代日本の文化は、渡来人や遣隋使・遣唐使に同行した留学生・学問僧らの活躍を背景として、朝鮮半島や中国の文化に大きな影響を受けて形成された。

推古朝を中心とする、7世紀前半の文化を飛鳥文化という。この時期には、仏教興隆政策を受けて、四天王寺や法隆寺、有力豪族の氏寺の伽藍建築にみられる礎石・瓦を用いた新技法による大陸風の建造物が建立されるようになった。この時期の影刻は、銅像の表面に鍍金を施した金銅像が中心で、代表的な作例に、中国の（ア）の影響を受けた、端正で厳格な容貌の法隆寺金堂釈迦三尊像がある。絵画・工芸では、法隆寺に伝わる玉虫厨子や、厩戸王をしのんで妃の橘たちばなのおのれいらつめ太郎女が制作された（イ）が伝来している。暦法や紙・墨・絵の具の製法も、この時期に伝えられた。

大化改新から平城京遷都に至る時期の文化には、清新でおおらかな律令国家建設期の気風が感じられる。669年以降、遣唐使の派遣は中断していたが、新羅を通じて間接的に中国の文化が取り入れられた。天武天皇の発願によって建立された薬師寺は、平城京遷都にもなって現在の場所に移されたが、移転当時から現存する唯一の建築物である東塔は、この時期の建築様式をよく伝えている。彫刻には、もとは山田寺の薬師三尊像の本尊で、1937年に興福寺で発見された仏頭や、光明皇后の母の橘三千代の念持仏と伝えられる法隆寺阿弥陀三尊像がある。法隆寺金堂壁画にはインドのアジャンター石窟や中国西域の（ウ）石窟の影響がみられ、1972年に奈良県明日香村で発見された、（エ）古墳壁画には中国や朝鮮半島の文化の影響が見受けられる。なお、この時期の文化は、仏教だけではなく、神仙思想を取り入れた道教の影響も受けていた。このことは、1983年に発見された（オ）古墳壁画に描かれた四神図や天文図からもうかがうことができる。

文学の分野では、この時期に和歌の形式が整えられた。『万葉集』には、この時期に活躍した歌人たちの作品も多く収められている。また、日本では5世紀頃から渡来人を中心に漢字の本格的な使用が始まったと考えられており、この時期になると、中央集権的な律令国家体制形成に対応して、中央の官吏だけではなく地方豪族の間でも漢字文化と儒教思想が受容されるようになった。それにあわせて中国的教養も受容され、貴族や豪族によって漢詩文が作られるようになり、751年には日本最古の漢詩集『（カ）』が編纂された。

〔語 群〕				
あ 隋	い 唐	う 和漢朗詠集	え 凌雲集	お 懷風藻
か 北 魏	き 南 梁	く 烏毛立女屏風	け 胎蔵界曼荼羅	こ 天寿国續帳
さ キトラ	し 簪 篋	す 高松塚	せ 敦 煌	そ 洛 陽

問 1 有力豪族と氏寺の組み合わせが、正しいものはどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 秦氏一広隆寺 い 蘇我氏一大安寺 う 物部氏一中宮寺

問 2 日本に暦法を伝えたとされる百濟出身の僧は誰か。次のなかから1人選び、記号で答えよ。

あ 曇 徴 い 観 勒 う 旻

問 3 この時期の文化を何というか。漢字で答えよ。

問 4 古代の日本と新羅の関係について、正しいものはどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 6世紀初めに、高句麗が新羅の支配下に入り、朝鮮半島における日本の影響力が後退した。
い 7世紀後半、新羅を支援するため朝鮮半島に天皇が大軍を派遣し、唐・百濟の連合軍と争った。
う 8世紀末には新羅への使者の派遣は減ったが、民間商人の往来は活発になった。

問 5 a 5・7調を反復し、最後を5・7・7とする和歌の形式を何というか。漢字で答えよ。

b 万葉歌人のうち、7世紀後半に活躍した人物は誰か。次のなかから1人選び、記号で答えよ。

あ 額田王 い 稗田阿礼 う 大伴坂上郎女

【2】 次の文の（ ）に該当するものを、下記の〔語群〕から選択し記号で答えよ。また、下線部についての問に答えよ。

室町幕府では、將軍家の当主を頂点とする権力機構と身分秩序が確立した。足利一門の3氏から任命された（ア）は、侍所・（イ）などを統括しつつ、諸国の守護に幕命を伝達する要職であった。侍所の長官も、（ウ）・一色・山名・京極の4氏から任命されるのが慣例である。彼らをはじめ西国の守護たちは、分国統治を守護代に任せて、幕府に在京奉公するのを原則とした。一方、諸国からの（エ）徴収権なども、弱体化した朝廷から肩代わりするようになった。

幕府はまた、直轄軍である（オ）を編成した。彼らは諸国に散在する（カ）の管理をしながら、守護たちを牽制した。一方、東国に置かれた（キ）は幕府にとっては出先機関であったが、前代以来の伝統のもとにしばしば京都の幕府とは対立した。また内乱を通して独立性を高めた辺境地域には、奥州・九州の両（ク）として、足利一門が配置されていた。

〔語 群〕			
あ 探 題	い 惣奉行	う 赤 松	え 夫 役
お 政 所	か 執 権	き 新 田	く 段 銭
け 鎌倉府	こ 鎮守府	さ 渋 川	し 奉公衆
す 管 領	せ 問注所	そ 北 畠	た 御料所

問 1 a 南北朝内乱終結に前後して、有力守護の抑圧を図った將軍は誰か。

b それによって滅ばされた有力守護は誰か。次のなかから1人選び、記号で答えよ。

あ 楠木正成 い 細川勝元 う 大内義弘

問 2 a この4氏を何と呼ぶか。

b 侍所の職務として適当なものを、次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 京都の警備・刑事裁判
い 京都の市政
う 將軍家の家政・財政

問 3 その長官を補佐する関東管領を世襲したのは何氏か。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 斯波氏 い 上杉氏 う 北条氏

【3】 次の文の（ ）に該当するものを、下記の〔語群〕から選択し記号で答えよ。また、下線部についての問に答えよ。

近世初頭、国内の戦乱が収まり、社会に平和がもたらされたことによって、交通や流通の安全が保障されるようになった。なかでも、堺や京都、博多・長崎・敦賀など、中世以来の流通・商業の拠点を本拠地とした豪商は、特権的な地位を獲得し、^①ルソンやアンナンなどの東南アジア地域との（ア）貿易によって巨大な富を得た。しかしながら、1641年に江戸幕府がオランダ商館を長崎の（イ）に移し、いわゆる「鎖国」の状態となったことで、海外との自由な交易が制限されるようになり、これらの豪商は急速に衰退していった。

17世紀後半になると、三都や各地の城下町を本拠地とする問屋が全国の商品流通の中心となった。生産地と問屋、あるいは問屋と小売商人を仲介して利益を得た商人を仲買といった。小売商人は仲買から購入した商品を、消費者や零細な商人の（ウ）などに販売した。彼らは、江戸などの都市の消費を支える存在であった。三都のひとつである大坂は、西日本の物資の集散地として栄えた。大坂の（エ）に納められた諸藩の年貢や特産物は、専門の商人が販売を一手に引き受けた。大坂では民間の商品も活発に取引され、それらは全国規模の海上交通網に乗せられて、江戸をはじめ各地に出荷された。^②

また、問屋や仲買は同業者組織（仲間）を作り、営業権の独占を図った。17世紀末になると、江戸・大坂間の輸送の安全や海損事故の共同保障、流通の独占を目的として、江戸や大坂では多様な職種で構成された問屋仲間が結成された。呉服・木綿・畳表などを扱う大商人の中には、三井家のように（オ）商を兼ねるものも現れ、三都や各地の城下町に出店を構えることもあった。^③

三都や城下町では、問屋・仲買の売買の場である卸売市場も発達した。大坂では（カ）の米市場、^④雑喉場の魚市場、天満の青物市場、江戸では日本橋の魚市場、（キ）の青物市場などがよく知られている。また、呉服屋などの大商人の本拠地が多く存在した京都では、（ク）織や京染、京焼などに代表される、高度な技術による手工業生産が発達した。

やがて、都市の大商人の中から、木綿などの商品作物の生産や流通を主導し、さらには生産地の百姓に資金や原料を貸与するものも現れるようになった。江戸時代、織物業や製糸業は主に農村部の女性による副業として一般的なものであり、もともと生産者が自前で糸などの原料や織機などの道具を調達していたが、19世紀になると商人が生産者に原料や道具を提供する代わりに、生産物を買上げる生産形態が普及するようになった。^⑤

〔語 群〕

あ	神 田	い	品 川	う	出 島	え	平 戸	お	堂 島
か	札 差	き	蔵 元	く	借 上	け	両 替	こ	振 売
さ	越 荷 方	し	蔵 屋 敷	す	藩 邸	せ	有 松	そ	小 倉
た	西 陣	ち	結 城	つ	伊 勢	て	勘 合	と	朱 印 船

問 1 近世初期の豪商のうち、高瀬川の水路開削や、鴨川・富士川の整備を行った京都の商人は誰か。

問 2 諸藩の年貢や特産物の管理や出納、売却を担った商人を何というか。〔語群〕から選んで記号で答えよ。

問 3 江戸時代の海上交通網の説明として正しいものはどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 17世紀前半、紀伊国屋文左衛門が東廻り海運・西廻り海運のルートを整備した。

い 17世紀後半以降、大坂から江戸への木綿・油・酒の輸送を菱垣廻船が独占した。

う 18世紀末ごろになると、大坂と日本海側沿岸を結ぶ海運として北前船が発達した。

問 4 17世紀末に、大坂で結成された問屋仲間の説明として正しいものはどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 淀川の水運を利用して、京都～大坂間の物流を独占した。

い 天明期になると、幕府から株仲間として公認された。

う 商品の種類別に編成され、江戸の二十四組問屋と提携した。

問 5 このような生産形態を何というか。

【4】 次の文の（ ）に適切な語句を記入し、また、下線部についての問に答えよ。

日露戦争ごろから第一次世界大戦ごろまでの時期は、東京などの都市で何度も群衆による暴乱事件が起こった時代だった。

その最初となったのが日比谷焼き打ち事件である。1905年、日露戦争のポーツマス条約で（ア）がまったく取れなかったため、戦争のための増税に耐えていた国民の不満が爆発、日比谷公園で開かれた講和反対国民大会が暴徒化したのであった。^①

元号が大正に変わった1912年、時の（イ）内閣は、陸軍の2個師団増設の要求を財政上困難だと拒絶した。すると上原勇作陸軍大臣が単独で辞表を提出、陸軍が軍部大臣現役武官制を悪用して後継の陸軍大臣を出さなかったため内閣が成立せず、総辞職を余儀なくされた。元老たちは陸軍軍人で長州閥の桂太郎を後継首相としたが、桂はこのとき首相を辞めて内大臣・侍従長という天皇側近の地位にあり、そのような人物が再度権力の座に戻ることは、宮中と政府の境界を乱すものだと非難された。また、陸軍の策謀で倒された内閣の後継に陸軍関係者が就くことも批判された。こうして立憲政友会と立憲国民党を中心に、^②「閣族打破・憲政擁護」を掲げる第一次憲政擁護運動が起こった。両党は内閣不信任案を議院に提出、それを支持する大群衆が議院を包囲したため、桂は1913年2月に政権を降りた。これを大正政変という。

大正政変後の総理大臣となったのは、薩摩出身の海軍軍人・山本権兵衛だった。山本は立憲政友会を与党としたため、政党の影響力を増すような政策をとった。ところが1914年、外国製の軍艦や兵器の輸入をめぐる海軍高官の汚職事件である（ウ）事件が発覚、都市の民衆たちは大正政変の時同様に議院を包囲し、山本内閣も崩壊した。

山本内閣に次ぐ大隈重信内閣のもと、日本は第一次世界大戦に突入する。大戦は日本に好景気をもたらし、産業は急激に発展して労働者も増加したが、主食の米をはじめ物価も上昇したため、賃金引き上げを求める労働運動が高揚した。^③1917年の（エ）革命を受けて1918年の夏にシベリア出兵が決定すると、出兵のための米需要を当て込んだ投機的な米の買い占めが起こって米価が急騰する。7月に富山県で起こった米の県外積み出し反対の騒ぎをきっかけに、貧しい人びとが中心となって米の安売りと買い占め反対を訴え、各地で暴動を起こした。とりわけ東京では、日比谷公園での集会がきっかけとなっている。これが米騒動であった。

この結果、1916年に大隈内閣に代わっていた陸軍出身の寺内正毅の内閣は総辞職し、立憲政友会の（オ）が首相となった。この内閣は、初めての本格的な政党内閣とされている。ただしこの内閣は、大戦の影響もあって盛り上がった普通選挙を求める声には慎重で、選挙権の納税資格を3円以下に引き下げるとどまったため、1920年には普通選挙を求める数万人規模の大示威行動が起こされている。^④街頭が政治の舞台となる時代だったのである。

問 1 この条約で日本がロシアから獲得した鉄道を運営するために、設立された会社の名前は何か。

問 2 この制度をめぐる説明として正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 山縣有朋内閣が、政党の力の拡大を阻止するために設けた。

い 加藤友三郎内閣で、現役に限る規定は削除され、予備役などでも大臣になれるようになった。

う 近衛文麿内閣がこの制度を復活させたため、宇垣一成の首相就任が妨害された。

問 3 第一次憲政擁護運動において、立憲政友会を代表して活躍した政治家を次のなかから1人選び、記号で答えよ。

あ 犬養毅

い 尾崎行雄

う 河野広中

問 4 第一次世界大戦で日本軍が攻略した、ドイツ権益の中心だった中国の都市はどこか。

問 5 1912年に結成された友愛会が、大戦による労働者の増加と運動の盛り上がりを経て、1921年には何という組織になったか、次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 日本労働組合総評議会

い 日本労働組合評議会

う 日本労働総同盟

問 6 第一次世界大戦中の1916年に、論文「憲政の本義を説いて其有終の美を済すの途を論ず」を発表して民主主義を唱え、普通選挙を求める運動を盛り上げた政治学者はだれか。

問 7 この時期の都市の騒乱では、しばしば当時の都市内主要交通機関が焼き打ちされた。1895年に日本で初めて京都で開業し、東京では1903年に開業した、現在の熊本市にもあるこの交通機関は何か。

日本史

一般選抜（2月9日実施分）

●全学部・全学科③（前期日程）

【1】 次の文の（ ）に該当するものを、下記の〔語群〕から選択し記号で答えよ。また、下線部についての問に答えよ。

9世紀中盤以降、藤原氏のうちの（ア）家が天皇家との結びつきを強めて、勢力を伸ばしていった。その始まりは、藤原冬嗣が嵯峨天皇の信任をえて娘を皇太子（のちの仁明天皇）に嫁がせたことにある。冬嗣の子の藤原良房は幼少の清和天皇を即位させ、他氏を排斥する一方、みずからは摂政となって天皇の政務を代行した。これができたのは、良房が天皇の外祖父であったからである。良房の養子の藤原基経も、幼少の陽成天皇の摂政を務めたのち、陽成天皇を譲位させて光孝天皇を即位させたことで、光孝天皇から関白に任ぜられた。

9世紀末から10世紀前半にかけて、宇多天皇・（イ）天皇・村上天皇の三代では、摂政や関白が置かれなこともあり、特に（イ）・村上天皇の時代はのちに「延喜・天曆の治」とたたえられた。しかし10世紀後半、（ウ）で左大臣・源高明が左遷されると藤原氏（ア）家の勢力は盤石となり、以後は天皇が幼少の時には摂政、長ずると関白が置かれて政治の実権を握るのが慣例となった。これを摂関政治といい、摂政・関白を出す家柄を藤原氏のなかでも特に摂関家と呼ぶ。

摂関家のなかでも、誰が摂政・関白となるのかという争いが起こったが、10世紀末にこれを収めたのが藤原（エ）だった。（エ）は4人の娘を天皇や皇太子に嫁がせ、（エ）の子の藤原（オ）は三代の天皇のおよそ50年にわたって摂政・関白を務め、この二人の時代が摂関政治の最盛期であった。

摂関家が大きな力を持てたのは、当時の貴族社会の結婚の形がかかわっている。結婚した男女はしばしば妻側の両親と同居し、夫は妻の父の庇護を受け、子供は母方で養育されることが一般的であった。母方の縁が非常に重かったのである。そのため、天皇の外戚となることで天皇の権威を利用して、大きな権力を握れたのである。

さらに摂政・関白は藤原氏一族のなかでも最高の地位となり、藤原氏の（カ）を兼ねることで、人事を掌握して大きな権力を握った。そのため中・下級の貴族たちは、摂関家に取り入ることで、経済的に有利な地位である（キ）になることを求めるようになった。のちには（キ）のなかには、任地に赴かず収入だけを得る（ク）も行われるようになった。

〔語 群〕

あ 安和の変	い 氏 上	う 氏長者	え 応天門の変	お 家 長
か 兼 家	き 国 司	く 式	け 地 頭	こ 守 護
さ 成 功	し 承和の変	す 朱 雀	せ 醍 醐	そ 重 任
た 南	ち 教 通	つ 北	て 道 隆	と 道 長
な 逢 任	に 頼 通	ぬ 冷 泉		

問 1 嵯峨天皇の信任が厚かった藤原冬嗣は、平城太上天皇の変に際して設けられた天皇の秘書官長的な官職に任じられたが、この官職は何か。

問 2 宇多天皇が重用した文人貴族で、続く（イ）天皇のときに藤原時平によって政界から追放された人物は誰か。

問 3 この治世の時代に編纂された勅撰和歌集として正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 『金葉和歌集』 い 『古今和歌集』 う 『拾遺和歌集』

問 4 のちに摂関家は五つの家に分かれて五摂家と呼ばれ、それぞれの名字を名乗るようになった。五摂家に含まれない家を、次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 一条家 い 二条家 う 三条家 え 九条家

問 5 母親が藤原氏の出身でない天皇として正しいものを、次のなかから1人選び、記号で答えよ。

あ 一条天皇 い 三条天皇 う 後一条天皇 え 後三条天皇

【2】 次の文の（ ）に適当な語句を記入し、また、下線部についての問に答えよ。

1454年に勃発した享徳の乱は、（ア）から古河に移った足利成氏と堀越公方・足利政知とに東国の権力を分裂させて、都市・（ア）の求心力は衰えた。一方、西国では1467年にはじまった（イ）の乱が、京都の地位を低下させた。それにつれて東・西とも地域自立が進み、それらを結ぶ広域的な交通網も形成・再編されていった。一方、守護たち有力武家は、分国・所領に下って支配の充実を図っていくことになる。かくして戦国大名が登場する。

各地で市場税などを廃した（ウ）が増加し、港町・宿場町も勃興・繁栄した。そのなかには36人の（エ）衆が主導した堺など、自治を強めていくものもあった。戦国大名は都市や商人に保護を与え、また宿駅・（オ）の制を整えて交通の円滑化を図っていった。一方、（カ）町には主な家臣とともに商工業者を集住させて統制し、領国の中核とした。

かくして集中の度合いを高めた戦国大名の政治力・経済力は、鉱山開発・治水工事などの大規模なインフラ整備事業を可能にし、領国の経済をさらに充実させていく。だが一方で、大内・大友両氏が競合した中世最大の港町（キ）や、大内・尼子・毛利各氏が争奪した（ク）銀山など、主要な経済拠点をめぐる紛争は、戦乱が激化する要因にもなったのだ。

問 1 a 戦国時代の港町はどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 小 浜 い 横 浜 う 一乗谷

b 戦国時代の門前町はどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 小田原 い 長 野 う 八 代

問 2 a 戦国時代の主な金山はどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

あ 甲斐黒川 い 但馬生野 う 佐渡相川

b 甲斐の釜無川と御勅使川の合流地点付近に堰を築かせたのは誰か。次のなかから1人選び、記号で答えよ。

あ 織田信長 い 上杉謙信 う 武田信玄

【3】 次の文の（ ）に該当するものを、下記の〔語群〕から選択し記号で答えよ。また、下線部についての問に答えよ。

江戸時代、幕府や藩の過酷な支配や年貢などの各種租税^①に対し、百姓たちはしばしば強訴や逃散といった直接行動を起こして抵抗した。17世紀末になると、村役人に指導された百姓が連帯し^②、幕府や藩に対して年貢増徴反対や新税停止などを訴える（ア）一揆が各地でみられるようになった。

幕府や諸藩は、年貢と食料確保の必要性から五穀以外の作物を田畑に植え付けることを制限していたが、農村では次第に煙草や綿花などの商品作物の栽培が盛んになり、各地の風土に適した特産品が生産されるようになった^③。貨幣経済に巻き込まれるようになった農村では、資金に困窮して田畑を質入れする百姓が増加した。田畑を失った百姓は小作人となるか、年季奉公や日用稼ぎに従事せざるを得なくなったが、一部の有力百姓は質入れされた田畑を集積して地主に成長し、（イ）とも呼ばれるようになった。彼らは、村役人として村政を担うと同時に、質屋や在郷商人として地域の流通・金融の中心ともなっていた。有力百姓と、土地を持たない小百姓との間にはしばしば対立が生じ、小百姓らが村役人の不正を糾弾し、その交代を領主に訴えることもあった。これを（ウ）という。

18世紀後半、十代将軍徳川（エ）の側用人を経て老中となった田沼意次は、幕府の財政再建をめざして積極的な政策を打ち出した。その一方で、農村では経済格差が拡大して百姓の困窮化が進み、破産した貧農が城下町などの都市に流入し、都市や都市周辺の治安悪化の一因となった。また、1782年から87年にかけて、長雨と（オ）の大噴火、冷害によって天明の飢饉が発生し、江戸や大坂では困窮した都市住民が米の安売りを要求して米屋や富商を襲撃、家屋などを破壊する行動が多発した^⑤。

19世紀の初めになると、より広域の百姓が連帯して行う訴願もみられるようになった。1823年には、在郷商人の指導のもとに摂津・河内の1007カ村の百姓が結集し、特権的な大坂三所綿市問屋による流通独占の反対と綿の自由売買を大坂町奉行所に訴えた。このような形態の訴願は（カ）とよばれ、合法的なものであった。

〔語 群〕

あ 富士山	い 浅間山	う 普賢岳	え 家 綱	お 家 治
か 家 斉	き 義 民	く 豪 農	け 名 子	こ 惣百姓
さ 村方騒動	し 世直し	す 国 訴	せ 越 訴	そ ええじゃないか

問 1 山林や原野、河海の用益や、その産物に課された雑税は何か。

問 2 村役人の説明として正しいものはどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

- あ 一つの村につき1～3名の年寄が置かれ、村政全般に関わって庄屋を補佐した。
い 村役人の最上位には組頭が置かれ、各村の庄屋を統括する役割を担った。
う 村役人は庄屋・肝煎・名主で構成され、地方三役とも呼ばれた。

問 3 江戸時代の特産品と産地の組み合わせが正しいものはどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

- あ 紅花—伊勢 い 蘭草—越前 う 藍玉—阿波 え 奉書紙—薩摩

問 4 田沼意次の時代の政策ではないものはどれか。次のなかから1つ選び、記号で答えよ。

- あ 俵物や銅の輸出を振興し、長崎貿易の規制を緩和した。
い 江戸・大坂周辺の大名・旗本の知行地を、幕府の直轄領にした。
う 『赤蝦夷風説考』を採用し、最上徳内を蝦夷地に派遣した。
え 銅・鉄・真鍮座や朝鮮人参座を設置し、幕府の専売制を拡張した。

問 5 a 天明期以降に頻発するようになった、都市住民による米屋や富商の襲撃、家屋の破壊を何というか。
b 災害や飢饉で困窮した人びとに米や銭を与えるために、幕府や藩が臨時に設置した施設を何というか。

【4】 次の文の（ ）に該当するものを、下記の〔語群〕から選択し記号で答えよ。また、下線部についての問に答えよ。

明治政府が最初に設けた美術の教育機関は、工部省内に設置された工部美術学校^①で、1876年のことだった。イタリアから招いた教師に絵画や彫刻を教授させたが、日本の伝統的な美術は教えられなかった。工部省所管というところからして、近代化のための西洋の技術の一環として美術がとらえられていたことがうかがえる。しかし工部美術学校は数年で閉鎖された。

1880年代にはナショナリズムの思潮が高まり、伝統美術復興の動きが起こった。政府は1887年に、西洋美術を除外して（ア）を設立したが、その背景には、日本における美術研究の祖である（イ）と、彼が強い影響を受けたアメリカ人の（ウ）の存在があった。（イ）は狩野芳崖や橋本雅邦を支援し、伝統的な美術を革新させつつもり立てようとした。政府が伝統美術の保護に傾いた一因には、当時のヨーロッパにおいて日本画が高い評価を受けていたこともあった。1898年に（イ）と橋本らは（エ）を創立し、これに参加した「生々流転」などで知られる（オ）や菱田春草は、日本画に洋画の手法を取り入れて、あらたな日本画の境地を開いた。

日本における西洋画は、明治初期に「鮎」で知られる（カ）らが先鞭をつけたものの、一時衰退を余儀なくされていた。しかし浅井忠らによる日本初の西洋美術団体である（キ）の結成や、フランスで学んだ（ク）^③が帰国したことなどによって、次第にさかんになり、1896年には（ア）に西洋画科が新設された。

また彫刻でも、日本の伝統と西洋からの新たな芸術とが競合しながらの発展がみられた。前者の代表は「老猿」などの木彫作品で知られる（ケ）で、後者の代表がアメリカやフランスで学んだ萩原守衛による彫塑である。

文部省も伝統美術と西洋美術の共栄を図り、1907年には両者の発表の場としての会である通称（コ）を設けた。工芸でも西洋の技術を加味して、新たな陶磁器や漆器、七宝やガラス製品などが制作されるようになり、輸出も行われるようになっていった。

〔語 群〕

あ 青木繁	い 赤松麟作	う 岡倉天心	え キヨソーネ	お 黒田清輝
か 高橋由一	き 高村光雲	く 高山樗牛	け 坪内逍遙	こ 帝 展
さ 東京芸術大学	し 東京高等工芸学校	す 東京美術学校	せ 二科会	そ 日本美術院
た 白馬会	ち フェノロサ	つ フォンタネージ	て 文 展	と 明治美術会
な 横山大観				

問 1 工部省に設けられた工芸寮（のち工部大学校）出身の建築家で、日本銀行本店や東京駅を設計した人物は誰か。正しいものを、次のなかから1人選び、記号で答えよ。

- あ 伊東忠太 い 片山東熊 う 辰野金吾

問 2 日本のナショナリズムの起こりの一つは、急激な欧化政策に対する反発にあった。そのような政策の例として、1883年に外務卿の井上馨が建設させ、舞踏会などを開いて日本の西洋化を示した建物が挙げられるが、これを何と呼ぶか。

問 3 （ク）がフランスで影響を受けたとされる画家たちで、日本の浮世絵の影響も受けていたとされる人びとを、何派と呼ぶか。